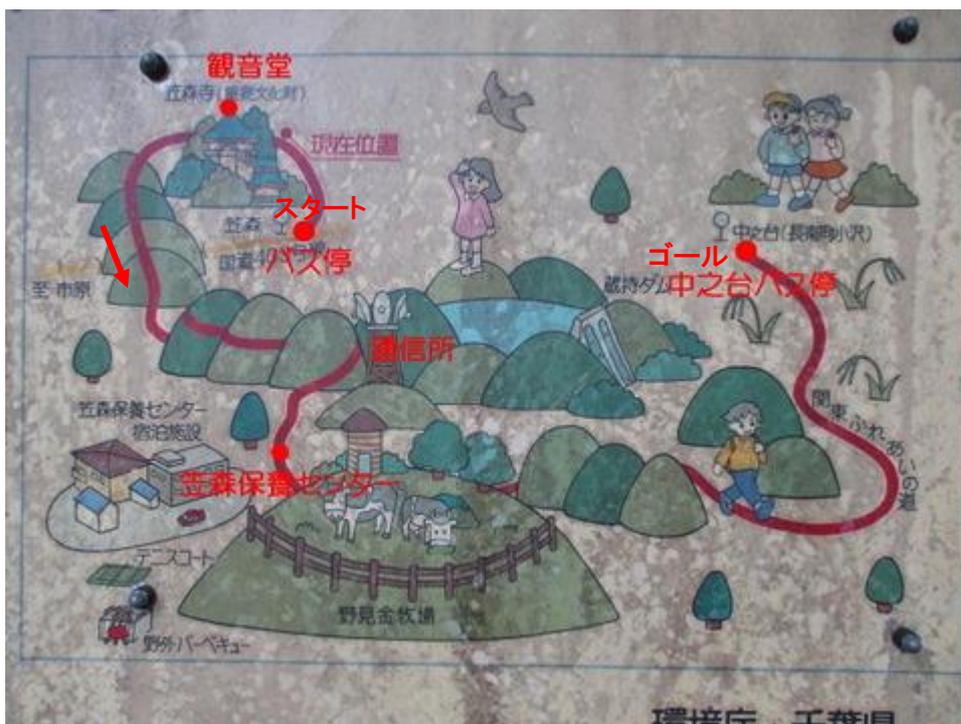


2022年10月2日(日)晴れ、暑いが湿度が低く快適。

昨日は茂原駅前のホテルに宿泊した。朝は7:20のバスで昨日ゴールした笠森バス停から観音を通り、笠森自然林の遊歩道を11km、3時間程歩いて町の真ん中のバス停にゴールする。



⑪観音様のみち案内板(首都圏自然歩道連絡協議会) 石標も置いてある



⑫コース概念図



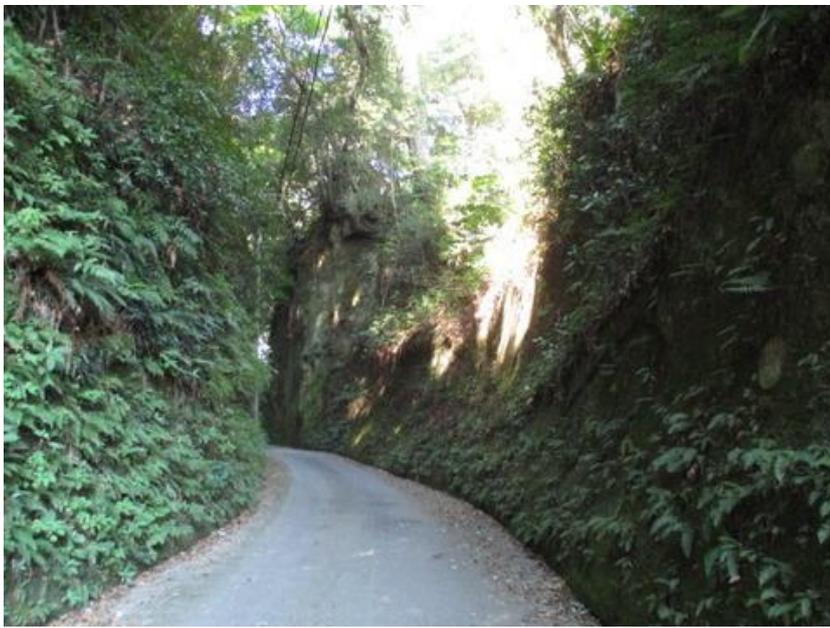
茂原駅南口発 7:20 分の小湊バスに乗れば、笠森バス停には 7:50 に着く



バス停前から案内板に従って歩いて行こう



いきなり切通の女坂を上ってゆく



10m程掘削してなだらかにしたが、結構急坂だ。古代市原の国府への道と云う



笠森観音一帯は寺林として豊かな緑に守られ、天然記念物として保護されている



朝の笠森観音寺、坂東 33 観音のうち 31 番札所



岩山の上に四方懸造りは珍しく、国指定重要文化財に指定されている



天和(1681-1683)松尾芭蕉もここを訪れて、一句残している
”五月雨にこの笠森をさしもぐさ”



笠森寺自然林の遊歩道は観音堂の裏手から始まる



50~60 万年前、更新生時代の常総大地の泥岩



歩き始めて 30 分位は平坦な散歩道であったが、



次第に木道が増えてきて、小さなピークの上を繰り返す



コースは整備されていて迷うところはない、森林浴が存分に楽しめる



たまにはこの先、通行禁止の表示があって良い。迂回路はできている



親切な事に、ここの石標は1km毎に尾根道の上に置かれている。



枯れ葉が舞い落ちて探しにくいから、一つずつ清掃しながら歩いた



文字の書き方も左右バラバラで、何とも言いようがないね



コースの途中、「ユートピア笠森」があるが、閉鎖されていた。
展望台も閉鎖であったが、上らせてもらった。今歩いてきた道を振り返る



里に下れば、またのどかな農村風景が広がる



県道に出ると、中之台バス停がゴールだ、このバスは集落の巡回バス、
一日2回の運行で、我々の利用は便利でないから、更に歩き続けることになる。

⑫コースはここがゴールであるから、一旦区切りをつける

【参考タイム】 茂原駅(7:20)→笠森バス停(7:55)→笠森観音(8:10-8:15)→笠森保養センター (10:40-10:55)→中之台バス停(12:20)⑬に繋げる

「関東ふれあいの道(千葉)⑬先住民の歩いたみち」に続く